

川崎市 令和6年度 予算概要説明会が開催される！

2024年3月21日（木）川崎市本庁舎において、「川崎市令和6年度 予算概要説明会」が開催されました。この説明会は、川崎地域連合・連合神奈川が申し入れた「2024年度に向けた政策・制度要求と提言」に対する検証の場と位置づけています。

連合神奈川から林会長以下9名、川崎地域連合と川崎労福協合わせて18名が出席しました。また、川崎市からは福田市長以下7名が出席しました。



冒頭、川崎市の斎藤財政部長から予算のポイントについて説明がありました。続いて、福田市長は、「連合神奈川・川崎地域連合には様々な形でご協力いただいていることに感謝申し上げます。また、渡部議長には歴史的な節目である市制100周年の実行委員会のメンバーとしてご活躍いただいている」と挨拶しました。



意見交換にのぞむ福田市長

福田市長との意見交換では、災害対策（上下水道の耐震化）、多文化共生社会の実現、市制100周年記念事業の取り組み、JR南武線の連続立体交差事業の推進などについて、意見を交わしました。その中で福田市長からは市制100周年事業に関しては、労組でも『川崎をもっと知る、関わる』ための機会をつくってほしいと提案がありました。

連合神奈川 林会長は、「春闘は中小企業にフェーズが移ったが、適正な価格転嫁、賃上げの原資不足などの課題がある。行政からの支援もお願いしたい」と挨拶しました。



あいさつをする渡部議長

最後、川崎地域連合 渡部議長からは、「過日受け取った2024年度の回答について精査を行った結果、小項目153件に対して、実現と判断した項目は33件と大変高い回答となっている。一方、114件については、継続項目等となっており、引き続き課題解決に向けて協力を仰ぎたい。また、最幸のまちづくりや100周年事業に向けては労働組合としてもできる限り協力したいと思う。さらなる連携をおこないながら住みよい街にしていきたい」と挨拶しました。